

シラバス

科目名	Word II	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Word」の機能を理解してその操作を学習し、実際の業務を念頭にその機能を利用できるスキルを養います。		
到達目標	基本的なビジネス文書の作成から表現力豊かな文書の編集まで、ビジネスのみならず、プライベートなどでも活用できることを目標とします。		
授業の方法	ビジネス文書や電子メールの基本を学び、表や図形などを取り入れた実践的なビジネス文書を作成。模擬試験ではルールに則ったビジネス文書を迅速に作成できるようにする。知識問題では、コンピュータと文書作成の基礎知識を学ぶ。		
評価方法	出席（15%）、授業態度(15%)、提出物（20%）、期末試験（50%）によって評価を行います。検定試験を受験し、合格した者については加点をします。		
授業時間外に必要な学修	特になし。		
使用教材教具	FOM出版「日商PC検定試験 文書作成3級 公式テキスト&問題集」「日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級 知識科目 公式問題集」		
留意点	特になし。		

授業計画	
1	検定試験の概要 試験内容と対策 第1章 ビジネス文書
2	第1章 ビジネス文書
3	第2章 ビジネス文書のライティング技術
4	知識問題1
5	第3章 電子メールのライティング技術 知識問題2
6	第4章 ビジネス図解の基本 知識問題3
7	第5章 ビジネス文書の管理 知識問題4
8	第6章 基本的なビジネス文書の作成 知識問題5
9	第7章 表のあるビジネス文書の作成 知識問題6
10	第8章 図形のあるビジネス文書の作成 知識問題7
11	模擬試験1 知識問題8
12	模擬試験2 知識問題9
13	模擬試験3 知識問題10
14	期末対策
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	コースミーティングC	必修/選択	選択
授業時数	30時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導 		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	学生の進度に合わせた就職活動対策を行います。個別にその時期にやるべき就活対策を行い、内定獲得に向けて企業研究等を行います。時期によっては生活指導的面談を行い、学生生活の充実を図ります。		
評価方法	主に就職活動の経過や、学生生活全般において意欲的に学校行事に参加しているかなど、生活態度や提出課題の内容で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃から就活サイトのチェックや志望業界、企業の研究をするとよいです。		
使用教材教具	ノートパソコン		
留意点	この科目だけでなく一般常識と併せて、就職活動に活かして下さい。		

授業計画	
1	オリエンテーション
2	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策、個人面談
3	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
4	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
5	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
6	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
7	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
8	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策、個人面談
9	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
10	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
11	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
12	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
13	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策
14	個別就活対策、応募書類作成(ES・履歴書等)、面接対策、個人面談
15	前期のまとめ/後期に向けての計画
16	

シラバス

科目名	デザイン演習Ⅲ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式			
学修内容	デザイン、造形の基礎知識や技術を様々な作品制作を通じて習得します。		
到達目標	志望する業界での職務にあたり、デザインや造形の観点からの発案や企画、アドバイスができるよう、基礎から応用までの知識や技術の習得を目指します。		
授業の方法	主に実技での課題制作です。絵の具を使つての平面作品制作や木などを使った立体作品の制作をします。		
評価方法	提出作品の内容で、課題への理解や表現力を評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席状況が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	様々なもののデザインを注意深く観察して下さい。		
使用教材教具	アクリル絵の具、筆、定規、その他		
留意点	1年次からの継続する授業です。		

授業計画	
1	オリエンテーション ■平面構成①__幾何形体を使った構成
2	画面の構成を考える/クロッキー帳に案を描きだす。
3	案の決定/作図して色味を考えて着色する。 着色は1年次の学習を踏まえて、ムラの無いように、丁寧に。
4	全体のバランスを見ながら制作を進める。
5	細部の修正等をして仕上げ →作品提出
6	■ウォールフレームのデザイン デザインの検討/資料を参考にデザインを決めていく。
7	デザインの検討/全体のイメージや使う素材など、制作案が決まってきたら制作準備に取り掛かる。
8	制作準備/必要な材料の用意をし、準備が整ったら制作開始。
9	制作開始
10	仕上げ →提出
11	■平面構成②__モチーフを使った構成
12	画面の構成を考える/クロッキー帳に案を描きだす。
13	案の決定/作図して色味を考えて着色する。 着色は1年次の学習を踏まえて、ムラの無いように、丁寧に。
14	全体のバランスを見ながら制作を進める。
15	細部の修正等をして仕上げ →作品提出
16	

シラバス

科目名	販売士Ⅲ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	高屋 勇人
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	マーケティング、マーチャンドライジングをはじめとする流通・小売業における高度な専門知識を学習する。		
到達目標	販売促進の企画・実行をリードし、店舗・売場を包括的にマネジメントする人材を目指すとともに、リテールマーケティング検定2級取得を目指す。		
授業の方法	自作のサブノートを使い、サブノートに直接記入し要約本を自分で作成		
評価方法	出席15%授業態度15%課題40%テスト30%		
授業時間外に必要な学修	様々な業種の店舗見学		
使用教材教具	リアックテキスト、サブノート		
留意点	経営計算をしっかりと習得する		

授業計画	
1	(1)小売業の類型 チェーンストアの基本的役割
2	(2)マーチャンドライジング 商品の基本知識
3	(2)マーチャンドライジング 商品計画の基本
4	(2)マーチャンドライジング 在庫管理の基本的役割
5	(2)マーチャンドライジング 価格設定の基本的考え方
6	(2)マーチャンドライジング 利益追求の基本知識
7	(4)マーケティング 小売業のマーケティングの基本的考え方
8	(4)マーケティング 顧客管理の基本的役割
9	(4)マーケティング 販売促進の基本的役割
10	(4)マーケティング 商圈設定と出店計画の基本的考え方
11	(4)マーケティング 売場作りの基本的考え方
12	(3)ストアオペレーション
13	答案練習
14	答案練習
15	答案練習
16	答案練習

シラバス

科目名	裁縫Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	石関 智加
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	用具の使い方や縫い方などの基礎を学んだ後に、実際に作品制作へと移行します。作品制作を通じて、その構造や素材など複合的に学びます。		
到達目標	作品制作を通して、素材や道具の扱いから縫製の基本的な技術（手縫い、ミシン）を学び、就職後にも役立つ知識と技術を身に付けます。		
授業の方法	主にミシン、ロックミシンを使用し、実技中心に授業を進めます。		
評価方法	授業毎の課題、授業態度等を中心に評価をします。出席状況15%、授業態度15%、課題70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	身近にある衣類等の縫製を注意深く観察する。色彩検定の修得。		
使用教材教具	特になし		
留意点	他の授業と併せてアパレルに対しての興味、技術の向上を目指す。		

授業計画	
1	ミシン、ロックミシンの使い方
2	ミシンでの直線、曲線縫いの練習
3	ミシンでの直線、曲線縫いの練習
4	デニムパンツの丈詰め
5	スラックスの丈詰め
6	バッグの製作
7	バッグの製作
8	個々の作品製作
9	個々の作品製作
10	個々の作品製作
11	個々の作品製作
12	個々の作品製作
13	個々の作品製作
14	個々の作品製作
15	パンツの丈詰めの復習
16	パンツの丈詰めのテスト

シラバス

科目名	一般常識B	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	小林 一英
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	この授業では、1年後期の一般常識をベースに社会の仕組みを理解します。		
到達目標	社会に出る準備の第一歩として、社会理解と自己理解が進みます。		
授業の方法	基礎知識を学習した後、シュミレーションなどを通じて理解を深めます。また業界研究を進め労働法についても学びます。		
評価方法	業界研究発表の評価と普通の授業態度等を総合的に評価します。特に授業態度では「自分の人生とどう向き合う」姿勢を重要視します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞、業界紙、関係省庁資料など、様々な情報を意識して集めて下さい。		
使用教材教具	特になし		
留意点	入社後の自分や、仕事以外の家庭や人生などを想像しながら学習を進めて下さい。		

授業計画	
1	ライフプラン 1 生命保険や損害保険について仕組みを学び、比較検討のシュミレーションをします。
2	ライフプラン 2 結婚・出産・教育・介護など家庭でかかる様々なコストや助成金について学びます。
3	ライフプラン 3 株式や投資信託など投資に関する基礎知識を学び、シュミレーターで体験をします。
4	ライフプラン 4 所得税や控除について学び、年末調整など申告のシュミレーションをします。
5	ライフプラン 5 年金の基礎知識を学び、自分のライフプランを検討します。
6	内定先業界研究 業界情報誌や関係省庁の資料をもとに、内定企業や業界をより深く研究します。
7	内定先業界研究 業界情報誌や関係省庁の資料をもとに、内定企業や業界をより深く研究します。
8	内定先業界研究 業界の問題点や改善への各社の取り組みなどをまとめて発表の準備をします。
9	業界研究発表 業界の問題点や改善への各社の取り組みなどをまとめて発表します。
10	テーブルマナー レストランでの立ち振舞やテーブルマナーについて、ホテル校の実習室で実習します。
11	労働法と働き方 労働問題などを労働法とともに学習する。
12	労働法と働き方 労働問題などを労働法とともに学習する。
13	労働法と働き方 労働問題などを労働法とともに学習する。
14	労働法と働き方 労働問題などを労働法とともに学習する。
15	労働法と働き方 労働問題などを労働法とともに学習する。
16	

シラバス

科目名	雑貨デザインⅢ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式			
学修内容	様々な素材を使用して作品を制作し、その加工法や性質を学びます。		
到達目標	制作を通じて、加工技術を身に付けるとともに、消費者のニーズを意識したモノ作りができる視点を養います。		
授業の方法	「売れるデザインとは」、「買いたくなるデザインとは」という視点を持って作品制作を行います。		
評価方法	作品の内容を総合的に評価します。成績評価は、提出課題70%、出席状況15%、授業態度15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	今現在、世間で流通している雑貨を見て、「なぜ売れているのか」ということを考えてみよう。		
使用教材教具	クロッキー帳、アクリル絵の具、筆、筆記用具		
留意点	様々な素材の性質を学び、後期の「雑貨デザインⅡ」へ続きます。		

授業計画	
1	商品調査(インターネット等で現在の売れ筋を研究する)
2	↓
3	アクセサリ雑貨制作
4	デザイン/素材の選定/技法研究/試作品制作
5	本制作
6	↓ 完成
7	商品調査(インターネット等で現在の売れ筋を研究する)
8	↓
9	インテリア雑貨制作
10	デザイン/構造の研究/素材の選定
11	技法研究/試作品制作
12	本制作
13	
14	
15	↓ 完成
16	

シラバス

科目名	ショッププランニング I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	平田
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	ショップに勤務する際に求められる、店舗ディスプレイや商品企画・仕入れなどの知識を学び、自身の設定したショップのミニチュアを製作します。		
到達目標	市場調査を行い出店店舗を設定しブランドイメージに合った店舗計画の下、商品企画、ディスプレイ、什器レイアウトなどを行い10分の1サイズの店舗の製作を目指します。		
授業の方法	ブランドやショップのリサーチを行い、自身で出店する店舗の詳細を設定します。その設定に合った店舗やインテリアのデザイン・商品企画を行い、10分の1サイズの店舗を製作します。		
評価方法	個性や創造性豊かな店舗計画に合った企画やデザインなどの設定ができるとともに、その設定に忠実な表現、製作ができるかを評価します。		
授業時間外に必要な学修	ショッピングモールや雑誌、インターネットなどでリサーチを行う。		
使用教材教具	画材(各自の表現に合ったもの)、材料(木材、粘土、他各自の表現に必要なもの)、機材(電動のこぎり機、彫刻刀、サンダー他)		
留意点			

授業計画	
1	市場調査
2	市場調査
3	店舗計画
4	店舗計画
5	商品企画・デザイン
6	商品企画・デザイン
7	商品企画・デザイン
8	レイアウト計画(平面図)
9	レイアウト計画(平面図)
10	什器計画・デザイン
11	什器計画・デザイン
12	什器計画・デザイン
13	什器計画・デザイン
14	配色計画
15	配色計画
16	

シラバス

科目名	ラッピングⅢ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	桜井
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ラッピングに関する様々な包み方や縛り方を習得し、実際に職務に就いた際に、求められた要望に応えられる知識・技術を習得します。		
到達目標	様々な素材の包装紙やリボン等の扱いと、様々な形の物品を包むための技術を身につけ、ラッピング検定2級の取得を目指します。		
授業の方法	アレンジ技術を実技で進めて、デザインした作品に応用できるように授業を進めます。		
評価方法	出席状況、課題、取り組み方		
授業時間外に必要な学修	好きなショップのラッピング状況		
使用教材教具	箱、包装紙、リボン、オーナメント		
留意点			

授業計画	
1	基本の復習(合わせ包み、斜め包み)
2	応用編 アレンジ包み 合わせ包み
3	コンケイブ包み
4	スクエア包み
5	クロス包み
6	絞り包み
7	円柱ボックス包み
8	異質ペーパーのアレンジ
9	↓ リボンのアレンジ
10	目的別のラッピング バッグ
11	↓
12	パッケージ
13	↓
14	↓
15	前期期末テスト
16	

シラバス

科目名	ファッションビジネス概論1	必修/選択	必修選択
授業時数	30時間	担当教員	堀米 孝彰
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	ファッションは、文化であると同時にビジネスで成り立っている。川上から川下まで、糸が服になって消費者の手に渡るまでの様々な業種、素材産業、メーカー、加工業、流通業、小売業といった業界の仕組みを学ぶ。またファッションの買い手である顧客について学びながら、マーケティングについて学んでいこう。		
到達目標	ファッションビジネス検定3級を取得する。将来アパレル産業への就職を希望する学生が、身に付けるべきファッションビジネスの用語や戦略、消費者が購入に至るまでのメカニズムを学ぶ。		
授業の方法	座学を中心に、自分の考えをまとめ、発表をする。		
評価方法	出席15点、授業態度15点、授業参加への積極性15点、試験55点		
授業時間外に必要な学修	ビジネスは現場で起きているので、教室内の座学だけでは不十分である。WWD、織研新聞、学校で購読している雑誌などを利用し、ファッションのトレンドや時事問題についても学ぶ必要がある。		
使用教材教具	教科書、問題集、ノート、雑誌、配布資料		
留意点	2年時より、授業中、自らの意見を積極的に発言することを積極性として評価する（挙手発言）。前期で、資格試験の出題範囲の70%を学び、残りの30%は後期の前半で学ぶ。		

授業計画	
1	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・ビジネスの概要： ファッションの語源と同義語、ファッションの7つの意味、ファッション産業、ファッション・ビジネス
2	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・ビジネスの概要： 繊維ファッション産業の流れ。川上川中川下の各産業について。
3	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・ビジネスの概要： ファッション・ビジネスの歴史、60年代～70年代～80年代～90年代～00年代～どのように変貌を遂げてきたか。
4	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・ビジネスの概要： ファッション・ビジネス最新動向。マーケットイン、CS、グローバル化、サステナビリティ、垂直統合、QRとSCM、IT化
5	[Aファッション・ビジネス知識]アパレル産業と小売業： アパレル産業とは。アパレルメーカー、商社、ライセンスビジネス、
6	[Aファッション・ビジネス知識]アパレル産業と小売業： アパレル小売業の概要。百貨店、量販店、専門店
7	[Aファッション・ビジネス知識]アパレル産業と小売業： 最新小売事情。無店舗販売、有店舗販売、ノードストロームラックの例。
8	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション消費と消費者行動： 消費と消費者、ニーズとウォンツ、消費者の意思決定プロセス、AIDMA、欲求5段階、
9	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション消費と消費者行動： ライフスタイル、ライフサイクル、ライフステージ、TPO、シーズンサイクル
10	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション消費と消費者行動： 顧客分類
11	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・マーケティング： マーケティングとはなにか。4P。セールスとマーケティングの違い。
12	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・マーケティング： マーケティングとはなにか。STP。顧客細分化。
13	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・マーケティング： 顧客分類法。感性、オケーション、グレード、革新度による分類と、市場調査
14	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション・マーケティング： イノベーション理論とイノベーションのジレンマ。
15	[Aファッション・ビジネス知識]期末試験
16	[Aファッション・ビジネス知識]期末試験

シラバス

科目名	ショップマスター論 1	必修/選択	必修選択
授業時数	30時間	担当教員	堀米 孝彰
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	あらゆるビジネスの目的は、ある1人の顧客の創造とその顧客の維持である。またファッションにおいて、顧客と唯一対面して接することができるのは、ショップとそこで働くスタッフである。店舗の運営責任者として必要な、様々なオペレーション、販売促進、VP、MD、ブランディングなどを学んでいこう。		
到達目標	ファッションビジネス能力検定3級を取得する。店長や現場の責任者として、必要な知識を実学として学ぶ。		
授業の方法	座学を中心に、自分の考えをまとめ、発表をする。		
評価方法	出席15点、授業態度15点、課題30点、試験40点		
授業時間外に必要な学修	課題作成で時間が足りない場合には、授業時間外の時間を使っても可。		
使用教材教具	教科書、ノート。絵の具やペンなど色を塗ったり描く道具。その他、メジャー、生地見本、絵型はこちらで用意します。		
留意点	課題提出に忙しくなることが予想されるため、課題の前に行う座学授業は集中して聞いてください。資格試験対策の進行具合によっては、課題作成のうち一つは後期に変更する場合があります。		

授業計画	
1	[Bファッション造形]ファッションコーディネート： 【座学】色によるコーディネート、素材によるコーディネート、感覚によるコーディネート、柄によるコーディネート
2	[Bファッション造形]ファッションコーディネート： 【課題】色によるコーディネート、素材によるコーディネート、感覚によるコーディネート、柄によるコーディネート
3	[Bファッション造形]ファッションコーディネート： 季節によるコーディネート。シーズンスタイリングの重要性。
4	[Bファッション造形]ファッションコーディネート： 【課題】季節によるコーディネート。シーズンスタイリング事例研究
5	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： ファッション史： シャネル、ディオール、アントワープ6
6	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： プロポーション、体表区分、採寸してみよう。
7	[Bファッション造形]品質表示： サイズ表記と品質表示
8	[Bファッション造形]ファッション商品知識： デテール、素材、シルエット
9	[Bファッション造形]ファッション商品知識： デテール、素材、シルエット
10	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： 【課題】オーダーシャツを作ってみよう。接客、デザイン決定
11	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： 【課題】オーダーシャツを作ってみよう。採寸、オーダー表を提出。
12	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： 【課題】オーダースーツを作ってみよう。接客、生地決定、プライス決定
13	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： 【課題】オーダースーツを作ってみよう。採寸。実寸。
14	[Bファッション造形]デザインの定義と特性： 【課題】オーダースーツを作ってみよう。オーダー表を作成。
15	[Bファッション造形]期末試験
16	

シラバス

科目名	E x c e l II	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Excel」の機能を理解してその操作を学習し、実際の業務を念頭にその機能を利用できるスキルを養います。		
到達目標	Excelの基本操作に加え、数学や関数の知識を習得し、内容に沿った形で効率的で見栄えの良い表やグラフを作成できるようになってもらいます。		
授業の方法	取引のしくみや業務の流れを学習し、関数やピボットテーブル、データベースなど実践的なデータ活用をする。模擬試験ではより見やすい表とグラフを迅速に作成できるようにする。知識問題では、データ活用の基礎知識をしっかりと学習する。		
評価方法	出席（15%）、授業態度(15%)、提出物（20%）、期末試験（50%）によって評価を行います。検定試験を受験し、合格した者については加点をします。		
授業時間外に必要な学修	特になし。		
使用教材教具	FOM出版「日商PC検定試験 データ活用3級 公式テキスト&問題集」「日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級 知識科目 公式問題集」		
留意点	特になし。		

授業計画	
1	第1章 取引の仕組みと業務の流れ
2	第2章 業務に応じた計算・集計処理
3	第2章 業務に応じた計算・集計処理
4	第3章 業務データの管理
5	第4章 表の作成1
6	第4章 表の作成2
7	第5章 データの集計1
8	第5章 データの集計2
9	第6章 グラフの作成 知識問題1
10	第1回 模擬試験 知識問題2
11	第2回 模擬試験 知識問題3
12	第3回 模擬試験 知識問題4
13	練習問題
14	練習問題
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	コースミーティングB	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導 		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	学生の進度に合わせた就職活動対策を行います。個別にその時期にやるべき就活対策を行い、内定獲得に向けて企業研究等を行います。時期によっては生活指導的面談を行い、学生生活の充実を図ります。		
評価方法	主に就職活動の経過や、学生生活全般において意欲的に学校行事に参加しているかなど、生活態度や提出課題の内容で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃から就活サイトのチェックや志望業界、企業の研究をするとよい。		
使用教材教具	ノートパソコン		
留意点	この科目だけでなく一般常識と併せて、就職活動に活かして下さい。		

授業計画	
1	企業研究 【 並行して学園祭準備 】
2	企業研究
3	企業研究
4	企業研究
5	企業研究・志望動機作成
6	企業研究・志望動機作成
7	企業研究・志望動機作成
8	会社説明会・面接試験について
9	会社説明会・面接試験について
10	会社説明会・面接試験について
11	入社試験準備
12	入社試験準備
13	入社試験準備 【 並行して卒業制作展準備 】
14	入社試験準備
15	入社試験準備
16	

シラバス

科目名	卒業制作	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式			
学修内容	卒業進級制作展での展示に向けて、2年間の集大成としての作品を制作します。各自目的を持ち、制作計画を立てて進めます。		
到達目標	各自で立てた制作計画に基づいて、より完成度の高い作品を完成させることを目指します。		
授業の方法	本校で学んだことを踏まえ、自由に制作計画を立てます。作品制作のコンセプトを考え、そのためにはどのような素材、技法、見せ方が良いのかなど、総合的に自分で考えながら制作を進めます。		
評価方法	学生自身が考えた制作計画に基づいて、内容の完成度の高い作品を作れたかを評価します。		
授業時間外に必要な学修	制作プランの詳細を考え、参考となる資料等を集めておくとい良いでしょう。		
使用教材教具	学生の制作内容によって、使用するものは変わります。		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーション
2	制作プランの検討、資料探し
3	制作プランの検討、資料探し
4	制作プランの検討、資料探し、エスキス等制作
5	資料探し、エスキス等制作、素材等検討、材料の準備
6	資料探し、エスキス等制作、材料の準備、本制作開始
7	本制作開始
8	各自の制作スケジュールで制作
9	各自の制作スケジュールで制作
10	各自の制作スケジュールで制作
11	各自の制作スケジュールで制作
12	各自の制作スケジュールで制作 【並行して展示の準備】
13	各自の制作スケジュールで制作 【並行して展示の準備】
14	細部の修正
15	細部の修正、完成
16	

シラバス

科目名	雑貨デザインⅣ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	寺崎
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式			
学修内容	作品制作を通じて商品企画力を養い、造形技術や様々な素材や道具の扱い方、技法を身につけます。		
到達目標	業務に就いた際、ビジネスとして成り立つレベルの個性豊かで魅力的な企画、提案やアドバイスができるスキルを習得する。		
授業の方法	「売れるデザインとは」、「買いたくなるデザインとは」という視点を持って作品制作を行います。		
評価方法	作品の内容を総合的に評価します。成績評価は、提出課題70%、出席状況15%、授業態度15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	今現在、世間で流通している雑貨を見て、「なぜ売れているのか」ということを考えてみよう。		
使用教材教具	クロッキー帳、アクリル絵の具、筆、筆記用具		
留意点			

授業計画	
1	■作品制作① 前期の復習
2	↓
3	
4	
5	↓
6	■作品制作② 木を使った制作
7	↓
8	
9	
10	↓
11	
12	■作品制作③ 小作品
13	↓
14	
15	↓
16	

シラバス

科目名	裁縫Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	石関 智加
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	「裁縫Ⅰ」で基礎を身に付け、その技術を応用して実際に使用できるようなクオリティの作品を制作します。		
到達目標	作品制作を通して、素材や道具の扱いから縫製の基本的な技術（手縫い、ミシン）を学び、就職後にも役立つ知識と技術を身に付けます。		
授業の方法	主にミシン、ロックミシンを使用し、実技中心に授業を進めます。		
評価方法	授業毎の課題、授業態度等を中心に評価をします。出席状況15%、授業態度15%、課題70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	身近にある衣類等の縫製を注意深く観察する。色彩検定の修得。		
使用教材教具	特になし		
留意点	他の授業と併せてアパレルに対しての興味、技術の向上を目指す。		

授業計画	
	1 卒業進級制作展のための作品制作。
	2 卒業進級制作展のための作品制作。
	3 卒業進級制作展のための作品制作。
	4 卒業進級制作展のための作品制作。
	5 卒業進級制作展のための作品制作。
	6 卒業進級制作展のための作品制作。
	7 卒業進級制作展のための作品制作。
	8 卒業進級制作展のための作品制作。
	9 卒業進級制作展のための作品制作。
	10 卒業進級制作展のための作品制作。
	11 卒業進級制作展のための作品制作。
	12 卒業進級制作展のための作品制作。
	13 卒業進級制作展のための作品制作。
	14 卒業進級制作展のための作品制作。
	15 卒業進級制作展のための作品制作。
	16 卒業進級制作展のための作品制作。

シラバス

科目名	ラッピングⅣ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	桜井
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ラッピングに関する様々な包み方や縛り方を習得し、実際に職務に就いた際に、求められた要望に応えられる知識・技術を習得します。		
到達目標	様々な素材の包装紙やリボン等の扱いと、様々な形の物品を包むための技術を身につけ、ラッピング検定2級の取得を目指します。		
授業の方法	ラッピングのデザインをパソコンで調べる。デザインから制作		
評価方法	出席、課題、取り組み方		
授業時間外に必要な学修	好きなショップのラッピング状況		
使用教材教具	箱、包装紙、リボン、オーナメント、洋紙、和紙		
留意点			

授業計画	
1	目的別アレンジラッピング ハロウィン
2	↓
3	↓
4	目的別アレンジ
5	↓ デザイン/材料選び/制作 (3~4作品)
6	↓
7	↓
8	クリスマス
9	↓ デザイン/材料選び/制作 (1~2作品)
10	↓
11	↓
12	バレンタイン
13	↓
14	↓
15	後期期末テスト
16	

シラバス

科目名	ショッププランニングⅡ	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	平田
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	ショップに勤務する際に求められる、店舗ディスプレイや商品企画・仕入れなどの知識を学び、自身の設定したショップのミニチュアを製作します。		
到達目標	市場調査を行い出店店舗を設定しブランドイメージに合った店舗計画の下、商品企画、ディスプレイ、什器レイアウトなどを行い10分の1サイズの店舗の製作を目指します。		
授業の方法	ブランドやショップのリサーチを行い、自身で出店する店舗の詳細を設定します。その設定に合った店舗やインテリアのデザイン・商品企画を行い、10分の1サイズの店舗を製作します。		
評価方法	個性や創造性豊かな店舗計画に合った企画やデザインなどの設定ができるとともに、その設定に忠実な表現、製作ができるかを評価します。		
授業時間外に必要な学修	ショッピングモールや雑誌、インターネットなどでリサーチを行う。		
使用教材教具	画材(各自の表現に合ったもの)、材料(木材、粘土、他各自の表現に必要なもの)、機材(電動のこぎり機、彫刻刀、サンダー他)		
留意点			

授業計画	
1	店舗イメージ図
2	店舗イメージ図
3	店舗・什器設計図
4	店舗・什器設計図
5	店舗製作
6	店舗製作
7	店舗製作
8	什器製作
9	什器製作
10	什器製作
11	商品制作
12	商品制作
13	商品制作
14	全体配置
15	発表・講評
16	

シラバス

科目名	ファッション・ビジネス概論2	必修/選択	必修選択
授業時数	30時間	担当教員	堀米 孝彰
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	ファッションは、文化であると同時にビジネスで成り立っている。実際に物が動くこと（流通）と、お店からお金が動くこと（計数管理）を学びます。		
到達目標	ファッションビジネス検定3級を取得する。将来アパレル産業への就職を希望する学生が、身に付けるべきファッションビジネスの用語や戦略、消費者が購入に至るまでのメカニズムを学ぶ。		
授業の方法	座学を中心に、自分の考えをまとめ、発表をする。		
評価方法	出席15点、授業態度15点、授業参加への積極性10点、資格試験の合否40点、期末試験20点		
授業時間外に必要な学修	資格試験の勉強		
使用教材教具	教科書、問題集、ノート、雑誌、配布資料		
留意点	後期は、資格試験の合否が成績に含まれ、配点比率が非常に高いので、合格のために頑張ってください。授業中に問題集を解く時間は取れないので、問題集を使つての勉強は各自自分の時間を使って勉強すること。		

授業計画	
1	[Aファッション・ビジネス知識]ビジネス基礎知識： 会社とは。企業の社会的責任、コンプライアンス、組織、管理会計
2	[Aファッション・ビジネス知識]ビジネス基礎知識： 計数知識。
3	[Aファッション・ビジネス知識]ビジネス基礎知識： 計数知識。
4	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション流通： 流通とは。流通の役割と機能、コスト
5	[Aファッション・ビジネス知識]ファッション流通： アパレルにおける取引条件。特に工場とアパレルメーカーの取引条件と、アパレルメーカーと小売業の取引条件。ファッション小売業の仕組みと業務。
6	資格試験対策1 消費の変容、多様化、購買プロセス、購買心理
7	資格試験対策2 アパレル業界、小売業、マーケティング、マーチャンダイジング
8	資格試験答案解説
9	資格試験答案解説
10	[ファッションビジネス実践]： 企業研究：STP分析
11	[ファッションビジネス実践]： 企業研究：STP分析
12	[ファッションビジネス実践]： 【発表】企業研究：STP分析
13	[ファッションビジネス実践]： ブランドをつくろう
14	[ファッションビジネス実践]： ブランドをつくろう
15	期末試験
16	期末試験

シラバス

科目名	ショップマスター論2	必修/選択	必修選択
授業時数	30時間	担当教員	堀米 孝彰
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	あらゆるビジネスの目的は、ある1人の顧客の創造とその顧客の維持である。またファッションにおいて、顧客と唯一対面して接することができるのは、ショップとそこで働くスタッフである。店舗の運営責任者として必要な、様々なオペレーション、販売促進、VP、MD、ブランディングなどを学んでいこう。		
到達目標	ファッションビジネス能力検定3級を取得する。店長や現場の責任者として、必要な知識を実学として学ぶ。		
授業の方法	座学を中心に、自分の考えをまとめ、発表をする。		
評価方法	出席15点、授業態度15点、授業参加への積極性10点、資格試験の合否40点、期末試験20点		
授業時間外に必要な学修	資格試験の勉強		
使用教材教具	教科書、問題集、ノート、雑誌、配布資料		
留意点	後期は、資格試験の合否が成績に含まれ、配点比率が非常に高いので、合格のために頑張ってください。授業中に問題集を解く時間は取れないので、問題集を使つての勉強は各自自分の時間を使って勉強すること。		

授業計画	
1	[Aファッション・ビジネス知識]ファッションマーチャンダイジング：
2	[Aファッション・ビジネス知識]ファッションマーチャンダイジング：
3	[Bファッション造形]ファッションコーディネート：
4	[Bファッション造形]ファッションコーディネート：
5	資格試験対策1
6	資格試験対策2
7	資格試験対策3
8	資格試験答案解説
9	資格試験答案解説
10	[ショップマスター実践]
11	[ショップマスター実践]
12	[ショップマスター実践]
13	[ショップマスター実践]
14	[ショップマスター実践]
15	期末試験
16	期末試験